

十一月十八日

七時過起床。利根町と連絡。今日打合せとなるも、ウチのスタッフと連絡取れず。世田谷で待つ。待ち切れず、一人で発つ。

十時半新宿で渡辺、十一時前西日暮里で野村と落ち合い、十二時前、取手へ。利根町佐藤さんと待ち合わせ、昼過、利根町農協で利根町長井原正光さんと会い、共におにぎりの昼食、井原町長は利根町百人スクールのメンバーだったので良く知っている人物だ。佐藤さん達の前町長リコール運動が功を奏して、井原町長登板となつたいきさつがある。町長との農協のがらんとしたテーブルも無い部屋でのおにぎりの昼食は大変美味であった。特に大根の煮込んだのがうまかった。昼食後、町長のビニールハウスでのイチゴ栽培を見て、周辺の土地見学。その後、役場へ。五階建の町役場は竜ヶ崎市との市町村合併を数年後に控えて、当然お荷物になる。立派で無用の大きなロビーもあって、これを高級高齢者用マンション、そして利根町農園付で販売し、ロビーを農産物の市場にするアイデアを話し合った。今ごろ市庁舎を建てようという馬鹿な地域があるとは思えぬが、それでも建設されるであろう箱モノを他の農業施設に転用する方法を考察しておく必要がある。野村にそのプランづくりをオーダーする。町へのプレゼンテーションを次回の2C¹農村研究会で行う予定も作る。学校も二つ余り始めているので、その転用も考えなくてはならない。十四時町役場を去り、泉光寺下の百笑園を見る。このプラン作りは渡辺にオーダー。泉光寺の小山のデザインも話した。コウモウ神社を見る。

何度訪れても、この神社のあるたたずまいというか、風景は良い。小さな神様が幾たりか棲みついている感がある。コウモウ神社より、奥宮まで行き、奥宮下の角田家へ。屋敷見学。ここは良い学校になる。小さな市場にもなるだろう。矢尻塚を遠くに見て、石川さんのダーチャへ。利根帳最高の場所である。幸い、石川さん夫妻や近所の方々も、今日引越したばかりのビニールハウスで一服しておられた。いつお目にかかっても、石川さんは素晴らしい。上品な風格がある。定年まで水道局に勤め上げ、それから丹念な百姓仕事に転生した人生の見事さが、その畑の隅々まで溢れ返っているのである。これ程の菜園は世界に無い。ロシアのダーチャなんて実に笑わせてくれる位のものなのだ。ビニールハウスでお茶をいただき、つけもの、黒豆の煮モノ、ブドウ、ミカン、他、全て石川さんの産物をいただく。実に心が和むのである。帰りに、沢山の農産物を、いつも通りにいただく。いちじく、青梗菜(青菜)、カブ、白菜ツケモノ。黒豆煮、丸大根、柿、ミカンetc。運び切れぬ位にいただく。嬉しいね。本当に。佐藤さんの家に寄り、いただいた農産物を別ける。終了後、我孫子真栄寺へ。馬場昭道氏を訪ねる。十七時着。連絡もせずに行ったのだが、珍しく昭道さんは寺に居た。昨日まで京都との事。十八時に何処かで講演会との事で、その準備中であつた。十七時半真栄寺発。十八時我孫子市白樺文学館へ。志賀直哉の住居があつた手賀沼沿いの場所である。大事業家が運営と聞く。副館長渡辺貞夫さんと会う。館内を案内していただく。地下にオーデイオルームあり。立派なモノだ。日本一のベシーのモノと比べると、大人しいものだ。別に私がえげつる事はないのだけれど、十八時三〇分、昭道さんレクチャー。仲々面白かつた。武者小路房子さんの話しを中心に、彼の故郷宮崎の「新しき村」に関して。私と昭道さんは彼に

よれば二〇年位前に出会ったのであるが、今、私が²¹農村研究会を始めようとしているのも、因縁だなコレワ。武者小路等、白樺派の新しき村と、我々の²¹農村研究とは距離があるのだが、似ていない事はないのだ。昭道氏レクチャー二十時修了。その後、館のスタッフ、ボランティアメンバーと会食。二十一時過迄。二十二時過日暮里、二十三時半、世田谷村に戻る。今日は面白かった。